

# Ja-Net

季刊ジャネット

Ja-NetはJapanese Networkの略です。[にほんご]を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

No. 57

2011年4月25日発行

- ◆ View from the Other Side ..... 3
- ◆ あちこち日本語ご紹介  
(北海道函館市) ..... 4
- ◆ あちこち日本語ご紹介  
(デンマーク王国コペンハーゲン市) ..... 5
- ◆ 教材紹介  
『新完全マスターシリーズ』  
『日本語能力試験N1、N2 模擬テスト(1)』  
『文章には道がある Part 1、Part 2』
- ◆ なんでも情報BOX ..... 8

スリーエーネットワーク

東日本大震災によって犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災地の皆さまに心よりお見舞い申しあげます。  
弊社に寄せられた海外の方々からの「日本頑張れ」のメッセージを皆さまにお届けし、日本がこの未曾有の災禍を乗り越えて、  
被災地の皆さまが一日も早く平穏な生活を回復されますことを祈念いたします。

株式会社スリーエーネットワーク  
代表取締役社長 小林卓爾

卷頭寄稿

## 食事文化 多様性へのアプローチ

世界民族料理研究家 香菜 緑



大学で文化人類学を学び、卒業後は独自に世界の食事文化を研究し、日本に伝える仕事をしてきました。文化人類学とはどういうものかを簡単に言うと、「世界の多様な気候、風土の中で、長い時間をかけて人々が形成してきた生きるための貴重な知恵を、幅広い視点から様々な背景も含めて学ぶこと」です。どんなテーマでも研究対象になりますが、食いしん坊の私は料理、食事文化を遊びました。

世界の食事文化を料理の作り方も合わせて紹介する料理講習会という形での仕事が多いのですが、出会った方々からは「どの国の料理が一番好きですか?」とよく聞かれます。その答えは「じっくり研究すると、どの国の料理でもそれぞれのよさが感じられて、どこが一番かなんて思わなくなります」。そう、食事に限らず、文化は平等なのです。どの国のどの文化は価値が高いとか、低いとか、進んでいるとか、劣っているとか、そういうランク付けはありません。等しく同じ価値と捉えます。



バリ島の家庭で教わりながら作った料理

ひとつの国の食事文化を学ぶためには、地理、歴史、宗教、諸外国の影響などからアプローチしていくので、様々な関連本を読み、国民性や、その国が抱えている問題などにも目を向けています。フィールド・ワークといって、現地取材調査もやりますが、カルチャーショックを受けつつ、実際に五感をフルに使って味わったり、観察したり、インタビューしたりすることによって、食習慣から家庭生活、男女の役割分担、生き方などもわかります。

そうやって異文化を学ぶことは、興味深くておもしろいだけでなく、多様性を認めることによって自分も楽になります。自己肯定感が増し、幸福度が高まるのです。どういうことなのか、私が実際に行った国の中からいくつか具体的にご紹介いたします。

### インドネシア・バリ島

イスラム教徒の多いインドネシアの中で、バリ・ヒンドゥー教という独特な宗教があります。宗教に深く根ざした地縁、血縁の濃い社会で儀礼、お祭りがひんぱんに行われます。そのたびに大勢集まって料理を作り、みんなで食事します。集団の中で生きていくため、もめないように気を配って生きる習慣からか、おだやかで静かな優しい人が多いです。

日常の食事は毎日朝市で新鮮な食材を買い物し、家族の1日分をまとめて料理します。大皿に盛った長粒米のご飯とスパイシーなおかず数種を台所においておき、家族は各自が好きなときに食事します。そう、一人でさっと食べるが当たり前の社会なのです。これはちょっと衝撃的でした。「食育」が呼ばれて久しい日本では、家族がバラバラに一人でご飯を食べるなんて、「孤食」とか言われて問題

のある悪い家庭であるかのように見られます。食事は家族だんらん、みんな揃って1日の出来事など披露しながら楽しく取らねばならないものという概念に縛られて、苦しんでいる人も多いことでしょう。食事は家族揃って食べなくても別に構わないのです。バリ島ではそれが普通ですから。

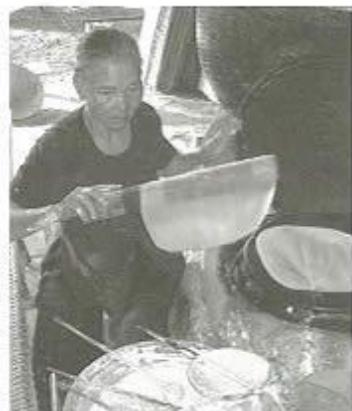
我が家も4歳の息子と夫の3人家族ですが、昼は保育所や職場でバラバラだし、夜も息子は先に一人で少々遊びながら食べ、夫の帰宅を待ちきれない私も一人でおいしく食べています。

### ギリシャ・アテネ

関西在住で日本人の妻を持つギリシャ人男性が、アテネの叔母さん宅を訪問するのに同行させてもらいました。お目当ては、叔母さんが本場ギリシャ料理のキャベツロールを作るのを見せてもらうこと。普通のお宅でしたが、叔母さんと同年代のグルジア人女性のお手伝いさんがいました。日本ではお手伝いさんのいる家庭など、ほんとに珍しいですが、海外ではどこでもよくあること。他人を家に入れるのは抵抗があると尻込みするのではなく、異国人でも受け入れて、まるでお友達のように仲良く料理している姿は楽しげでうらやましいほどでした。

また、広いリビングの片隅にはベッドがあり、寝たきりのおじいさんがいました。100歳近いご高齢で、もう意識もほとんどないようでした。お手伝いさんの協力を得て、家族で介護していました。こんな光景もかなりのカルチャーショックです。日本で要介護老人がいる家庭では、きっとほとんどが個室にいるのではないか、少なく

とも、来客時にリビングに寝かせることはないだろうと思いますので。ギリシャのお宅では、初対面の私にも寝ているおじいさんを紹介してくれました。きれいなシーツとおしゃれなベッドカバーに包まれて、おじいさんはとてもこぎれいに見えました。家族から大切にされているのが伝わって、なんだか幸せな気分になりました。



米を石臼で挽いて粉にし、水で溶いて薄く蒸して、ライスペーパーを作る

### ベトナム・ホーチミン

ホーチミンでお米の粉から作る生春巻の皮、ライスペーパーの製造見学に行きました。ガイドは50歳くらいの日本語が上手なベトナム人女性。車や小船を乗り継いで、トロピカルフルーツの果樹園やココナツキャンディの製造場もめぐります。すると驚いたことに、ガイドさんは私の手をつないでくるではないですか。現地の人や観光客でごった返す中を歩くときや、船の乗り降りのときだからかなとこそばゆく思っていると、果樹園の中の静かな散歩道でも、ずっと手をつなぎっぱなし。ふと、子供の頃に帰ったような、なつかしい感じがして、くすぐったいけれど心からじんわり癒されました。

親子でもなく、夫婦でもなく、恋人でもない人と手をつないで歩くなんて、日本ではちょっと体験できそうにないですが、ベトナムではまったく普通のこと。女性同士、男性同士でも手をつなぎ、腕を組む姿をよく見かけました。人と人との距離感がとても近いのです。

最近、日本の東北ほか、各地で地震や津波などの大災害がありました。日本だけでなく、ニュージーランドやハイチ、チリなど、地震だけでも世界各地で頻発しています。また、紛争や差別、貧困など、解決すべき問題も地球上に数多くあります。それらを受けて、できるなら手助けしたい、何か協力したいという気持ちに駆り立たれる人も多いでしょう。考えられる手段として、お金や物を寄付する、現地へ出向いて身体を使って奉仕するなどがありますが、日々の暮らしや関係性の中で、すぐに実行するのは困難に感じるかもしれません。

そこで、誰もがいつでも気軽にできるボランティアを紹介します。それは、苦しんでいる国や地域のことを忘れないでおくことです。関心を持ち続けることです。新聞記事を見つけたらじっくり読んで切り抜いておく、関連した本や映画を見てみる、民族料理講習会に参加してみるなどして興味を持ってください。そして、それらのことを家族や友人に話をして伝えてください。そこから次の一步が始まる可能性があるのです。

### 香菜 緑（かな・みどり）

大阪大学人間科学部で文化人類学を学ぶ。ゼミでは、後に文化庁長官となった青木保教授の指導を受ける。卒業後も独自に世界の食事文化の研究を続け、海外取材旅行、料理講習会、原稿執筆など幅広く活動。大阪在住。

### ●レシピ：キャベツロール

#### ラハノ・ドルマデス Lahano dolmades

アテネで教えてもらった料理です。日本のロールキャベツと違うのは、大きさが小ぶりで具にお米が入ること、コクのあるレモン風味のソースで食べることです。春キャベツでも作ってみて下さい。

<作り方> <4人分>

① キャベツ小1コは芯を取り除いて丸ごとゆでる。



② ボウルに玉ねぎ1/2コ、ニンニク1片、バセリ1本をみじん切りして入れ、合い挽き肉300g、洗った米80g、塩小さじ1.5、黒コショウ少々を加えてよくこねる。



③ ゆでたキャベツの葉をそれぞれ1/2~1/3の大きさに切り分け、②のせて包む。



④ 鍋に重ね、ひたひたの水を入れ、落としぶたをして40分煮る。



⑤ アブコレモノソース（卵とレモンのソース）を作る。

小鍋に卵1コ、レモン汁大さじ2、コーンスターチ大さじ1、塩小さじ1/2、④の煮汁200mlを加えてよく混ぜ、とろみがつくまで混ぜながら加熱する。



⑥ キャベツロールを皿に盛り、ソースをかける。

## 学習者の目

このコラムでは、  
学習者の視点での話題を  
お届けします

## View from the Other Side

## 僕が日本語を学ぶ理由

ジェイコブ・スネッフェン（アメリカ）

僕の周りには、日本の独特で美しい文化を学ぶために、日本語を勉強している学生がたくさんいます。また、日本語そのものの美しさに惹かれて勉強している者もいます。言語を学ぶということは、普段見慣れている世界を新しい色で見ることだと思います。日本語や外国語の勉強を始めてから、僕の世界観は広がりました。そして勉強するにつれて、どんどん自分自身のことを理解できるようになってきました。日本語を学ぼうと思い立つとき、人はその文化を理由にすることが多いのですが、僕の場合は人とは違う理由があったのです。

僕は発音とテンポに影響を及ぼす言語障害を持っていたため、今まで劣等感を抱えて生きてきました。

その弱点を克服したいと思い、あえて外国語にチャレンジすることを決心したのです。4年間学習を続け、様々な経験をし、多くの友人ができ、色々な物の見方ができるようになりました。アメリカ人はグローバル言語である英語を使いこなせるのでそれに甘え、他の言語にチャレンジしないと言われています。それゆえアメリカは「人種のるっぽ」と言われるくらい多くの人種がいるのにも関わらず、バイリンガルの人が少ないのです。そこに挑戦することが僕の夢になりました。自分に足りない部分を補い、将来は外国語の教師になってみんなのために尽くしたいのです。

僕は14歳の夏から日本語の勉強を始めました。最初に覚えた言葉は「こんにちは」とか「さようなら」ではなく、友達に教えてもらった「美しい牛」でした。最初の2週間で、平仮名と片仮名を全て覚えました。脳の中で日本語を理解する部分は、英語を理解する場合とは違うように感じました。高校に入るまでに文法の基本を覚え、さらに漢字を100個覚えました。

高校では日本語の授業を受けることができました。ワシントン州は日系人が多いので、日本語の授業が学校でも取り入れられているのです。独学で学んできた内容とは違い、高校の授業は仮名を覚えることと「田中さんは日本人です」のような文を覚えていくものでした。

その頃から、日本の音楽を聴くようになりました。初めて聴いた歌はGReeeeNの「道」でした。

その後オンライン高校に転校しました。さらに1年後、JOIというオンラインの日本語学校を見つけました。この学校での学習方法は会話練習を中心でした。また、初めて座談会というものも経験しました。教師は自由に教えるスタイルで指導を行っていました。英語は禁止され、日本語だけの図表を使って新しいポイントを学習していました。英語を使わない授業により、非常に日本語が上達して



古井

いくことを感じました。

昨年は大学に設置されている日本語学習コースに参加しました。ランニング・スタートというプログラムがあり、そこには日本からの留学生がたくさんいました。初めて日本人と会い、相槌と身振りを教わりました。仲間と会話を練習し、日本の若者文化をたくさん教えてもらいました。

アメリカ人にとって日本語は簡単ではありません。文法は複雑ですし、固有名詞も読みにくいです。漢字は中国語よりも難しく感じます。日本の漢字は音読みと訓読み、そして当て字などがあり、たとえば「上」という漢字だと、「上がる」や「上手」、「うえ」や「のぼる」、「上着」などが頭に浮かびます。会話中に「とる」と聞こえたときは、いったいどの「とる」なのかを考えなければならず、困ってしまいます。

そのような難しい日本の漢字を、僕はどうやって覚えているのか。例えば、僕の「魚」のイメージはファインディング・ニモの「ニモ」で、「人」のイメージは友達です。その記憶術的イメージを使って、物語を作り、漢字を覚えるようにしています。

（例）「鯨」クジラ

ニモくんはクジラの中にいて、ニモにとってクジラの中は「京都」みたいです（このとき、頭の中に京都を思い浮かべてください）。このようにして常用漢字を覚えていきました。

日本語は僕の生活に大きな影響を与え、世界観をより鮮明にしてくれました。アメリカのこともあるため学ぶことができました。本当に日本語に感謝しています。今年はようやく日本に行く夢がないそうです（たこ焼きを食べてみたいです）。

まだまだ日本語ネイティブのように話せませんが、仲間の助けを借りて一生懸命頑張れば、絶対にマスターできる信じています。

Ja-Netを通じて僕の気持ちを表すことができたことに感謝します。

このコラムを書き終えて数日後、突然3.11東日本大震災のニュースが耳に飛び込んできました。今、僕の町の教会では、いつもより一時間長く日本の被災者のためにお祈りをしています。「日本を援助しよう！」という声が聞こえてきます。強い心を持つ日本人は、必ずこの苦しみを乗り越えることができる信じています。

日本の皆さん、頑張ってください！

ジェイコブ・スネッフェン 18歳 ワシントン州の高校生。  
独学で日本語学習を開始、現在はオンラインで日本語講座を開いている。  
中国語、韓国語などにも興味を持ち学習中。特技はピアノと絵。

あちこち

## 日本語

こ 紹 介

国内編



北海道函館市

日本語サロン  
マンツーマンでじっくりと、  
交流タイムでわいわいと

函館日本語教育研究会副会長 高橋かつ子

夜景で有名な北海道函館市。その中心部にある「青年センター」の1階ロビーで、毎週土曜日の午前中、「日本語サロン」が開かれています。当サロンは函館市やその近郊在住の外国人を対象にした日本語の学習・会話・交流の場。毎回5~10人程度の参加がありますが、彼らの職業、年齢、国籍、在住目的は実に様々です。日本人配偶者、留学生とその家族、語学教師、短期滞在者、就労者などをはじめ、最近は日本人の妻を持つ男性や子連れの参加も見られるようになりました。年齢は10代から60代までと幅広く、国籍も中国、韓国、アメリカ、イタリア、タンザニア、インドネシア、ドイツ、ロシアと様々です。

## 「日本語サロン」の活動

サロンの活動は学習タイムと交流タイムで構成されています。

10時半頃から受付が始まり、参加者の希望内容に合わせ、当日担当のボランティアスタッフが決められます。テキストを使用した日本語学習、自由会話、手紙を書く、印刷物を読むなど、それぞれの希望に合わせてマンツーマンで約1時間、じっくり向き合います。ボランティアスタッフは参加者のスピードや力に合わせ、寄り添うように日本語学習の手助けをすることを心がけています。どんな人を担当するのか当日に

ならないとわからないので、スタッフは毎回わくわく、どきどきです。

その後の30分間は交流タイムです。参加者全員で様々な活動が行われます。ゲームや、文化交流を通して、日本人スタッフも外国人参加者も日本語で相互交流することを目的としています。「部屋の四隅」\*のようなことをしたり、各国のジェスチャーの紹介や、絵で好きなもの紹介するなどの活動を通して、みんなでわいわいと楽しく過ごせるよう努めています。

当サロンの終了時間は12時15分ですが、あちこちで会話を弾み、12時半を過ぎることも少なくありません。ある参加者は「日本語サロンでは話したいことが自分のペースでゆっくりと話せるし、聞きたいことも聞ける。間違いも直してくれるし、友達もできるのでうれしい」と語ってくれました。悩みつつ活動しているスタッフにとって、うれしい励ましの言葉です。

今後も参加者の多様なニーズに応えられるようより一層の内容充実を図ると共に、彼らがより積極的に活動できるようにしたいと考えています。

この定例の「日本語サロン」のほかにも、年間行事としてお花見、函館山ハイキング、茶道教室、日本語スピーチ発表会、料理待ち寄りのパーティーなども開催しています。参加者の多くは家族連れ、また普段サロンに来れない人達も加わり、毎回とてもぎわっています。



学習タイム。参加者はボランティアスタッフとマンツーマンで日本語を学びます

## 「日本語サロン」の運営

サロンを主催している「函館日本語教育研究会 (Japanese Teaching Society-Hakodate)」(略称JTS)はその名通り日本語教育研究団体で、様々な研修や教授活動を実施しています。函館市が主催する「日本語教室」の運営や指導もJTSに委託されており、専門家による系統的な日本語指導がクラス形式で行われています。学習者は無料ですが、講師料やその他費用は市の負担となっています。「日本語サロン」はJTS独自の日本語支援ボランティア活動で、市の協力で会場費は免除されていますが、活動は全て無償で行われています。JTS会員は約40人おり、サロンの活動は毎回約10人のシフト制で対応しています。サロンのスタッフは大学や「日本語教室」などで講師を務めている人もいれば全くの新人もあり、多様なメンバーで構成されています。



交流タイム。みんなでお顔を並べました

函館日本語教育研究会 :

<http://jts-hakodate.gakkou.officelive.com/default.aspx>

\* 参加者が互いに知り合ったり、アイスブレーキング、学習への導入、グループ分けなどの目的で使うグループ活動のひとつ。『やってみよう参加型学習 日本語教室のための4つの手法～理念と実践』むさしの参加型学習実践研究会(スリーエーネットワーク刊)より

あちこち

# 日本語

紹介

海外編



デンマーク王国

コペンハーゲン市

北欧諸国における日本語教育と  
ネットワーク

東海大学ヨーロッパ学術センター所長 谷口聰人

## 北欧諸国における日本語教育の概況

北欧諸国における日本語教育は、古くはフィンランド・ヘルシンキ大学の1937年からの記録があるが、これは戦争で中断。戦後は1956年のスウェーデン・ウプサラ大学が早く、多くは60年代の半ばから開始されている。現在では多くの国で、複数の大学が日本語を主専攻科目としていて、中等教育でも第2外国語または第3外国語として取り入れている国が多い。いずれの国でも世界的な傾向と同じくして、日本のアニメ・マンガ・音楽などの現代文化に刺激された若者たちが日本語学習に関心を示し、非西欧語の中では人気が高いという。しかし、先生方の話によると日本語学習継続の壁は高いようで、大学の1学期目には定員を大きく上回る履修者が殺到しても、2学期目には半分に、また2年目にはさらにその半分以下に減っていくというのが現実のようである。

## 先生方とネットワーク

スウェーデン、フィンランドでは50名を超える先生がいて、学習者も全体でそれぞれ4桁に及ぶ。一番新しい所はアイスランドで、2003年からアイスランド大学に日本語コースが開設され2007年からは主専攻科目となったが、専任の先生が一人で何十名もの学習者を相手に孤軍奮闘されている。

北欧諸国全体では150名を超える先生方が日本語教育に従事されていて、その半数が大学等の高等教育機関の先生方であるが、

その先生方が横に繋がる連絡協議組織がまだ無い。現在その役割の一端を担っているのは、NIAS (Nordic Institute of Asian Studies) とNAJAKS (Nordic Association for Japanese and Korean Studies) という研究組織だが、いずれも日本語教育が主たる対象分野というのではない。

東海大学ヨーロッパ学術センターの  
果たしてきた役割

東海大学がその教育思想の源流の地ともいえるデンマークに、ヨーロッパ、別けても北欧諸国との教育・科学・文化交流の拠点として東海大学ヨーロッパ学術センター(TUEC)を開設して40年余り。ここで様々な学術交流活動が行われてきたが、日本語教育に限って振り返ると、1987年夏に3週間、オーフス大学との共催で行った日本語初級集中講座が最初であった。その後、1993年から97年まで毎夏2日または3日にわたりて連続5回開催された「北欧諸国日本語教育シンポジウム」が、北欧における日本語教育研究と教師間ネットワーキングに大きな役割を果たしたものとして注目される。これはTUECと東海大学留学生教育センター(当時)、コペンハーゲン大学三者が協力して開催したものだったが、強力な牽引役を担った下瀬川慧子教授(当時留学生教育センター所長)の存在無くしては実現しなかった。これらについては語るべきところが多いが、与えられた紙幅がそれを許さないので割愛せざるをえない。その後、

2002年夏に1週間の日本語中級講座を開催し20数名の参加があったが、その後予算が確保できず、これは單発に終わった。

## 新たにスタートしたワークショップ

上記いずれにも関わってきた筆者が今度TUECに赴任してきたのを機に、再び北欧諸国の先生方に声をかけて毎年春と秋の2回、日本語教育

ワークショップを開催することにした。2010年春には赴任直後の短い準備期間での開催であったが、待っていてくれたかのように15名の先生方が参集して活発な議論が展開された。その秋には21名の参加を得て討論・情報交換・交流はさらに盛り上がりを見せた。このようにすぐに北欧各国の先生方が呼び掛けに応えてくれて順調に回り出したのも、過去の結び付き、共有経験、特に5回のシンポジウムによるところが大きい。

以下、昨年の2回のテーマと発題者である。

- ・「読解のモデルをもとにした日本語読解授業設計——中・上級を中心に」鹿嶋 彰(弘前大学国際交流センター)
- ・「日本映画を用いた授業——中・上級日本語クラスで」谷口聰人(東海大学ヨーロッパ学術センター)
- ・「日本語教科書を作る」閔 正昭(東海大学国際教育センター)

現在、この春の3回目の開催に向けて準備が進行中である。今度のテーマは「書く力を伸ばす」で、日本から来ていただく二人の方に発題をお願いしている。

この年に2回のワークショップは、北欧各国の先生方が顔を合わせ、日々の教育活動の成果や課題について検討・情報交換し、新しい教授法や研究成果にも触れ、新たな視点とパワーを持ち帰っていただくことが目的である。そのネットワーキングにTUECが一定の役割を果たして行かれれば幸いなことだと考えている。

前半の日本語教育の概況については、国際交流基金のサイト「日本語教育国別情報(2009年)」を参考にしました。1993~97年の日本語教育シンポジウムについては「東海大学留学生教育センター紀要」第14~18号を、TUECの日本語教育ワークショップについて詳しくはwww.utokai.dkをご覧ください。



2010年からスタートした日本語教育ワークショップ

# 教材紹介

- 『新完全マスターシリーズ』
- 『日本語能力試験 N1 模擬テスト(1)』
- 『日本語能力試験 N2 模擬テスト(1)』
- 『文章には道がある Part 1: 10代 20代のための日本語を読む技術』
- Part 2: 10代 20代のための日本語で考える技術』

◆お待たせしました!

## 「新完全マスターシリーズ」堂々 10点、いよいよ刊行!

「新完全マスターシリーズN1、同N2」として「語彙」「文法」「読解」「聴解」「漢字(既刊)」を発行します。新しい日本語能力試験に対応できる実力はもちろん、各分野の運用力も養成できるテキストです。

「内容の確かさへの期待」に応えるため、企画・制作に時間をかけて取り組んできました。学習者に本当の力をつけたいとお考えの先生方に、自信を持ってお勧めします。



シリーズのデザインには、日本の伝統的な模様と色を使っています

### 『新完全マスター文法 日本語能力試験 N1、同N2』、『新完全マスター文法 日本語能力試験 N1、同N2』

拓殖大学留学生別科非常勤講師 友松悦子

#### ●新完全マスター文法 日本語能力試験N1、同N2

本書は、実際に意味のある文、まとまりのある文章を作ることができるようになるための文法学習を主目的とするものです。そのためには文法形式をやみくもに暗記するのではなく、効率的に整理して学習することが必要です。

本書の第1部は日本語能力試験旧出題基準にある文法形式だけでなく、そのレベルで必要と思われるものも含めて、それらを意味機能で分類し、どんな文脈でどのように使うか、どんな文法的性質を持っているなどを学べるようにしました。主観を含む度合いによって文法形式を大きく3つの柱に分けたこと、意味機能以外に別の切り口からも整理したことが本書の特徴です。

第2部では、文を組み立てるために必要な知識を学習します。決まった品詞・活用形に付くもの、後件が決まった形になるもの、名詞を修飾するときの決まった形などの観点から整理しました。

第3部では文章にまとまりを持たせるための方策を学習します。視点を統一したり接続詞を使ったりすることで文章は意味のあるまとまりを持ちます。実際に出版されている本の中から多くの練習問題を作成したので、練習を通して文章にまとまりを持たせる方法を体得できると期待しています。

#### ●新完全マスター聴解 日本語能力試験N1、同N2

聴解は注意深く聞くことしか上達の方法はないと思っている学習者もいるかもしれません。本書は「どのように聞けばよいか」というスキルを、新試験問題の形式別に細かく示しているところが特徴です。出題される5つの形式の問題に対応すべく、以下のような内容を盛り込みました。

1. 課題理解問題： するべきことや優先される課題を理解し、条件を整理しながら聞く練習。
2. ポイント理解： 必要な情報だけを絞って聞く練習。選択肢に見られる言い換えを認知する練習。
3. 概要理解： 話の構造をまとめること。主題・意図・意見を聞き取る練習。
4. 即時応答問題： 会話に使われる表現などに注意しながら、適切な問答を選ぶ練習。
5. 統合理解問題： 2人以上の話、2種類の話を聞いて整理する練習。

どの課も基礎練習をしっかりと行います。日ごろ聴解の授業を受け持っている著者らが、どうすれば新試験に対応する聴解の力がつけるかについて討論を重ね、案を練って本書をまとめました。授業で先生が話すような易しい日本語で解説が書かれていることも特徴的です。

#### ●新完全マスターシリーズ

新完全マスター漢字 日本語能力試験N1	発売中
新完全マスター漢字 日本語能力試験N2	発売中
新完全マスター聴解 日本語能力試験N1	6月発売予定
新完全マスター聴解 日本語能力試験N2	6月発売予定
新完全マスター文法 日本語能力試験N1	6月発売予定

新完全マスター文法 日本語能力試験N2	7月発売予定
新完全マスター語彙 日本語能力試験N1	近刊
新完全マスター語彙 日本語能力試験N2	近刊
新完全マスター聴解 日本語能力試験N1	近刊
新完全マスター聴解 日本語能力試験N2	近刊



## 『日本語能力試験 N1 模擬テスト(1)』、『日本語能力試験 N2 模擬テスト(1)』

千駄ヶ谷日本語教育研究所

本番さながらの実戦演習！ 本書は、新しい日本語能力試験の対策用教材として開発したものです。N1、N2 いずれも問題数はもとより、出題形式、問題用紙や解答用紙もできるだけ本試験に近いものをを目指しました。問題用紙を科目ごとに取り外し、添付されているCDを使えば、学校の授業でも、個人学習でも本番さながらの模擬試験が実施できます。

**厳選された問題の数々！** 新しい日本語能力試験は、言語知識に留まらず、日本語を使ったコミュニケーション能力を測定することにウエイトを置き、課題遂行能力を測ることで、受験者が日本語で何ができるかをより明確に描き出す方向にあります。本書に出題されている問題は、こうした方向性に忠実に準拠し、千駄ヶ谷日本語教育研究所内で日々日本語教育に当たっている教師陣がチームを編成し開発しました。実際に学習者を対象に試行を行い、結果を分析した上で、さらに推敲するというプロセスを経て作成しました。

**苦手な分野が把握できる！** 実際の試験は素点で集計されるわけではないので、この模擬テストも得点を集計する形は採用していません。その代わりに大問毎に正答数を記入して整理する「正答数

記入表」が入っています。本番通りに時間を測ってテストをしたら、解答と照らし合わせ、「正答数記入表」で整理して苦手な分野を把握し、弱点補強に役立ててください。

**幅広いニーズに対応！** N1、N2 レベルの試験対策の総仕上げとして、学校で一斉に模擬テストとして使用するのに最適ですが、本格的に試験対策を始める前に、重点を置くべき不得意分野を明確にするためにチャレンジしたり、日本語能力試験を受験しない人であっても、自分の実力を測るために役立てる、といった幅広いニーズに対応しています。

本年 9 月には『日本語能力試験 N1 模擬テスト(2)』、『日本語能力試験 N2 模擬テスト(2)』を発行する予定です。是非効果的にご活用ください！

### 『日本語能力試験 N1 模擬テスト(1)』

B5判 本文31頁+問題冊子1: 33頁、問題冊子2: 17頁  
CD 1枚付、945円 千駄ヶ谷日本語教育研究所 著



### 『日本語能力試験 N2 模擬テスト(1)』

B5判 本文31頁+問題冊子1: 33頁、問題冊子2: 13頁  
CD 1枚付、945円 千駄ヶ谷日本語教育研究所 著

## 『文章には道がある Part 1: 10代20代のための日本語を読む技術 Part 2: 10代20代のための日本語で考える技術』

ペネッセお茶の水ゼミナール国語科講師 石原知樹

**対象・目的** 本書では、日本語の文章を論理的に読解するために必要な技術とは何か、どのように身につけるのかを提案しています。日本人特に読解力が低下していると言われている10代20代の若者を対象にしていますが、日本語教育に携わる方、日本語学習の上級者が、日本語読解の新たな視点を獲得することにも役立つでしょう。本書が目的にしているのは以下の二点。①文章の「道」にそって正確に読む技術の習得。②正確な読解から、時代的な考え方の背景まで理解して、自分の考え方を日本語でまとめることができます。さらに、日本語で本格的な議論をし、コミュニケーションを図るきっかけともなるでしょう。

**Part 1 第一部の内容** 現在弁護士である筆者（上原広嗣）は、大学受験現代文講師の経験も持つ論理的読解のスペシャリスト。Part 1 第一部では「対比関係をつかむこと」を軸にしたシンプルな方法論「論理チャート」で、本質的な読解の糸口を提案します。

**Part 1 第二部～Part 2 の内容** Part 1 第二部以降では、大きな時間の流れのなかでそれぞれの文章がどのような論点を論じているのかを一目でつかむ「時代の論理チャート」を提案します。本を正確に読むことで、思わず周囲の人と話し合いたくなるような論点が提示されます。その意味で、日本語読解にとどまらない、学習者の本格的な知

的好奇心に応えるテキストばかりが選ばれています。

**読解の素材** Part 1 第3章では福田恒存氏の『日本を思ふ』を通じてキリスト教的な世界観を、Part 2 第3章梅原猛氏の『地獄の思想』では宮沢賢治の詩の読解を通じて、仏教的な世界観について知ることができます。さらに、Part 2 第6章では関根政美氏の『多文化主義時代の到来』を通じて、時代による文化観の変遷を知ることができます。各章で、常識を覆すスリリングな知的驚きを体験できるでしょう。日本語教師として知っておきたい教養が身につき、日本語学習者との日本語による建設的な議論・コミュニケーションのきっかけとなるでしょう。

**結び** 装丁は『R25』の表紙イラストでお馴染みの寄藤文平さん。本文の中にもイラストや図解を多用してこれまでとは全く違う切り口で、「読むこと」に切り込んでいます。日本語を教える人、これから日本語で読み・話し・考えていこうとする学習者にお勧めしたい一冊です。

### 文章には道がある

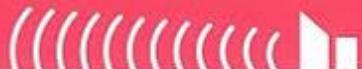
Part 1: 10代20代のための日本語を読む技術  
Part 2: 10代20代のための日本語で考える技術

四六判 Part 1: 288頁、Part 2: 316頁 各1,470円  
上原広嗣・石原和樹 著





## INFORMATION お知らせ



みんなの日本語 初級Ⅰ オランダ語彙訳

中級Ⅰ イタリア語訳完成！

- ご希望の方は営業広報部まで電話・FAX、またはメールにてお申し込みください。1部800円です（消費税・送料込み/国内）。

## SEMINARS セミナー



スリーエーネットワーク主催

◆『みんなの日本語初級Ⅱ』研修会 福岡会場

日 時：6月25日(土) 13:30～16:30 (受付開始 13:00)

会 場：九州英数学館国際言語学院

(福岡県福岡市中央区舞鶴1丁目5-30)

講 師：澤田幸子 (『みんなの日本語初級』執筆協力者)

定 員：100名 (先着順)

参加費：無料

『みんなの日本語初級』の使い方について、本書の執筆協力者が基本的な授業の進め方を中心に、練習の工夫、学習者が間違えやすい問題点など、具体的な事例を示しながら進めていきます。

- ご参加の方は、『みんなの日本語初級Ⅱ 本冊』をお持ちください。
- 今回の講座は、『みんなの日本語初級』をお使いの方を対象とさせていただきます。
- 内容は『みんなの日本語初級Ⅱ』の中から、いくつか項目を取り上げる形を予定しています。

### ■お問い合わせ／お申込み：

スリーエーネットワーク講座係

TEL: 03-3292-6193 FAX: 03-3292-6194

e-mail: kouza@3anet.co.jp

101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3 松栄ビル

住所・氏名・所属・電話番号を明記のうえ、電話・FAX・メールのいずれかにてお申し込みください。

## BOOKS



ほん

すべて税込価格です

日本語能力試験N1 模擬テスト(1)	発売中	945円
日本語能力試験N2 模擬テスト(1)	発売中	945円
日本語教育叢書 ‘つくる’ 漢字教材を作る	発売中	1,890円
新完全マスター聴解 日本語能力試験N1	6月発行予定	1,680円
新完全マスター聴解 日本語能力試験N2	6月発行予定	1,680円
新完全マスター文法 日本語能力試験N1	6月発行予定	1,260円
新完全マスター文法 日本語能力試験N2	7月発行予定	1,260円

## MESSAGE 東日本大震災 弊社に寄せられた海外からの応援メッセージ



アルゼンチンからのエール (撮影者 ルイス・キアン)

### ■タイ

元タイ国費日本留学生 ブラノム・リー・タヴォーン  
タイでは、「日本頑張れ」と、いろいろチャリティーを行っています。3月27日にはバンコクで、「巨大地震被災者支援マラソン大会」が開催されました。朝から気温の上がる中、エンボリウム前を出発した3 km、5 kmの二つのコースには、参加費350バーツで、4000人が参加。私も3 kmに加わりました。被災者の皆さん。元気を出してください。私達も応援しています。

### ■ポーランド

日本語講師 木戸リンダ

日本が大変なことになり、私は毎日テレビをチェックしながら、日本の状況が良くなることを祈っています。

今は、日本に来る学生も少なくなるかもしれません、いろいろなことが無事解決すれば日本に来て勉強したい人や働きたいと思う人がきっと増えると思います。

落ち着いたら日本に行きたいと言う生徒がたくさんいます。日本に旅行に行きたい人もたくさんいます。私はこれからも日本の魅力を若い人に伝えて行きます。

### ■デンマーク

東海大学ヨーロッパ学術センター 谷口聰人

いろいろなルート、方法での支援活動が始まっています。当地在住のバイオリニストとピアニストの提唱により、私たちのセンターでもチャリティーコンサートを行い、大勢の人々が押し寄せてくれました。

収益金は全額赤十字に寄付されます。このコンサートは100,000 Kr.に達するまで続けられます。

### お詫びと訂正

Ja-Net 56号「教材紹介」欄に掲載した『改訂版 読むトレーニング 基礎編・応用編 日本留学試験対応』の著者名の一冊に誤りがありました。正しくは以下のとおりです。お詫びして訂正いたします。

誤 和栗京子 → 正 和栗雅子

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第58号は7月25日発行です。